

## おおたか写真館

8～10月 イベントから

夏休みこどもワークショップ

カップケーキ型メモスタンド作り!

学生のためのマンガ入門

プロのマンガ家にご指導いただきました

小論文対策講座

今からでも間に合う! がんばれ受験生

小学生運動遊び

みんなでおもいきりジャンプ!

親子シュガークラフト

ハロウィンのお菓子BOXはお砂糖の甘い香り

レッツ★ダンシング

もうすぐ本番! 練習も佳境です

どんぐりマルシェ

お楽しみ企画がもりだくさんでした

例年以上の暑さとなった夏休み。「夏休みこどもワークショップ～オリジナルカップケーキメモスタンドを作ろう～」 「学生のためのマンガ入門講座～プロの漫画家の技を探れ～」 「今からでも間に合う小論文対策講座」 「わくわく! 小学生向け運動あそび」 など、夏限定のイベントに多くの参加がありました。秋を迎え、12月の発表会に向けてますます熱の入る「レッツ★ダンシング」、10/19の学童さんとの共催「どんぐりマルシェ」も盛況で、10/25には「シュガークラフトで作るハロウィンのお菓子ボックス」を開催しました。(星野)

### 今月の選書

by こども図書館

### クマと森のピアノ

『クマと森のピアノ』  
デイビッド・リッチフィールド/作  
俵万智/訳 ポプラ社

みなさんには大切にしている人や場所ってありますか?

「大勢の前でピアノを弾きたい」という夢をかなえるため、くまのブラウンは森を出て街に旅立ちました。すぐに人気者になったブラウンでしたが、何かもの足りない気持ちがあるのです。

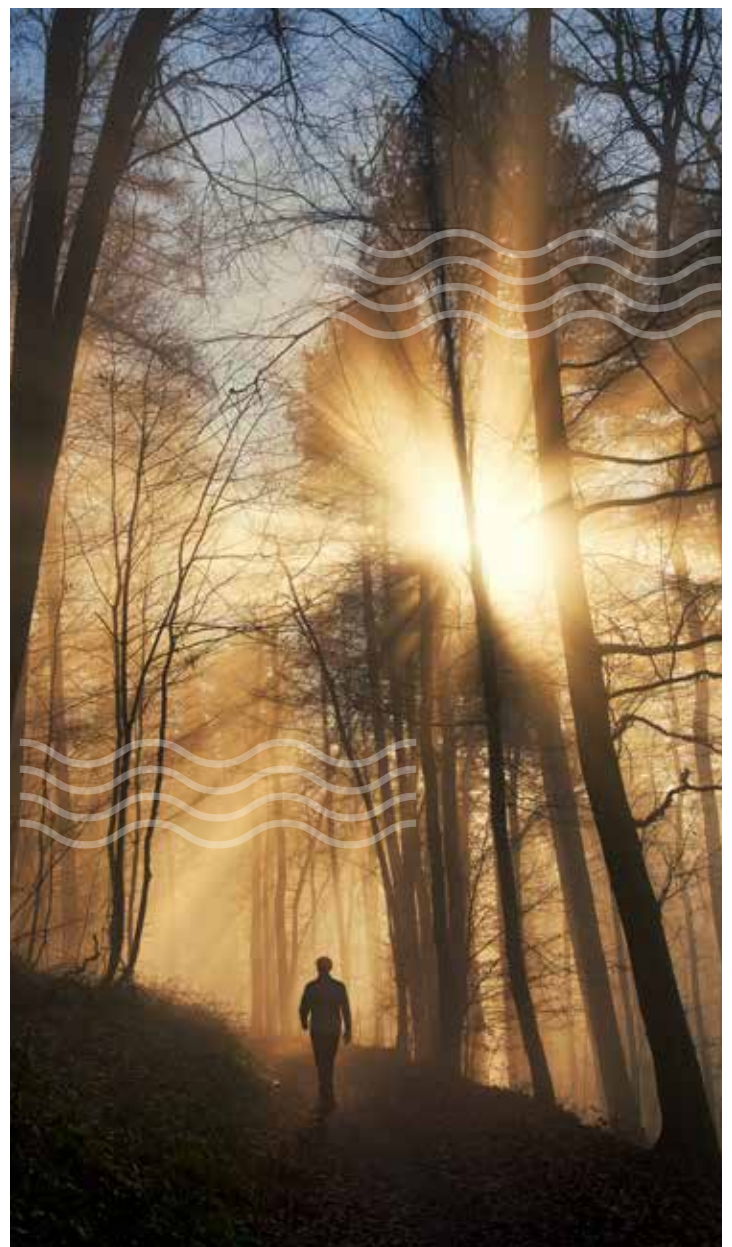
思い出すのは森にあるピアノや友達のことばかり。改めて自分の大切なものに気付いたブラウンは……?

繊細な絵とともに描かれる物語は必見! がんばりたいと思える力をくれるものを大切にしたいと思わせる1冊です。(こども図書館・高藤)

### 編集後記

この春赴任してようやく慣れてきたように感じるこの頃ですが、流山市内の地誌についても知っておきたいと思い、折を見て図書館へ行ってみたりしています。一部の館には郷土に関するコーナーがあり、中央図書館もそのひとつです。市立博物館と隣接していることもあり、時々利用させていただいています。様々な資料を閲覧しててまず印象的なのは、流山市内のほとんどの台地上に石器時代以降の遺跡が多数存在することでした。膨大な遺跡群の存在は、流山が太古から住みやすい土地だったことを物語るともいえます。ちなみに中央図書館は令和8年2月28日まで改修工事中で、1月13日からは全面休館とのこと。しばらくは遺跡の実踏でもしてみたいところです。(編集・星野)

**特集** ようやく短い秋の訪れを迎えた今回は、流山市内～周辺地域の紅葉スポットをご紹介します。(中面)



# Oh! taka Journal

流山市おおたかの森センターと 2025年 秋号

地域をつなぎ

寄り添うジャーナル誌。 **Vol.10**

[編集・発行] 流山市おおたかの森センター  
〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西 2-13-1  
TEL.04-7159-7031 FAX.04-7159-7062 Nagareyama City Otakanomori Center 2-13-1 Otakanomori Nishi, Nagareyama City, Chiba 270-0128, Japan

[発行日] 2025年11月15日  
[印刷] 流山市おおたかの森センター [責任者] 野口恵一

Instagram @otakanomori\_cente X @otakanomoriCity

## おおたかの森センターからのお知らせ

記録的な酷暑に見舞われた夏も終わり、一気に寒くなってきました。寒さに負けないために、おおたかの森センターで開催しているさまざまなイベントに参加してみるのはいかがでしょうか? 子育て中のママや体を動かしてリフレッシュしたい大人向けの「リフレッシュサロン」、未就学児と保護者向けの「わくわく親子体操」、小学生以上対象の「レッツ★ダンシング」をはじめ、5歳以上の親子向け「親子星空探検隊」や、おもちゃを修理してくれる「おもちゃ病院」、小学3・4年生対象「書き初めポイント教えます」もあります。そして、12月7日(日)には皆さんお楽しみの「おおたかキッズ Happy Christmas 2025」が開催されます。ダンスショーやおはなし会、高校生によるコンサート、工作イベントの他、キッチンカーもやってきます。イベントのご予約・お問合せはおおたかの森センターまで。詳細は『広報ながれやま』、センターHP等をご確認ください。(谷澤)

令和7年の書初めレッスンから



## ながれやま市&amp;周辺 紅葉スポット

秋が深まってきました。春の桜に引き続き、今回は当センターおよび流山市周辺の紅葉スポットをご紹介します。ちょっと足を伸ばして秋を楽しんでみてはいかがでしょうか！(島中)



## ① 市野谷の森西隣公園

流山市三輪野山字宮前 690

当センター近隣の「市野谷の森西隣公園」は、春の一本桜が有名ですが、秋の落ち葉のじゅうたんも格別です。



## ③ 理窓会記念自然公園

野田市山崎 2641  
(東京理科大学 野田キャンパス)

江戸川と利根川を結ぶ利根運河の北側に、東京理科大学のOB会で維持する理窓会記念自然公園があります。ここは、大学構内ですが、一般の人にも自由に出入りできる人気のスポットです。

## ② 一茶双樹記念館

流山市流山 6-670-1

漂泊の俳人・小林一茶は流山の商家・秋元三左衛門(俳号・双樹)のもとをたびたび訪れたことから、流山は一茶の第二のふるさとともいわれています。流山市は「小林一茶寄寓の地」を一茶双樹記念館として庭園や建物を整備。赤い紅葉と古民家の相性が抜群です。



## ④ 千葉県立柏の葉公園

柏市柏の葉4-1 (公園管理事務所)

地元ではいわずと知れた紅葉スポット。45ヘクタールの広大な敷地に多種の樹木があります。四季の広場のモミジバフウ、野球場近くのイチョウ、日本庭園周辺のモミジなど、あちらこちらで紅葉が楽しめます。

## 流山市周辺 紅葉スポット MAP



※写真①③④は流山市ホームページより

Oh!散歩  
ながれやま  
第9回

## 白みりんミュージアム

流山市流山 3-358-1



今年、3月に市の新名所「白みりんミュージアム」が誕生した。本町通りに近く、入口までの両側には切り絵行燈が並び、重厚な瓦屋根の平屋建ての建物は、江戸時代にタイムスリップしたようだ。

秋晴れのさわやかな午後、見学ツアーに参加した。ガイドの武田さんは糀マイスターの資格を持つ方で、みりんの魅力と流山のみりんの歴史を分かりやすく説明してくれた。印象に残ったのは、江戸時代に万上味噌と天晴味噌の二つの醸造所が羽二重で漉すなどの工夫を重ね、よりきめ細かな良質なみりんを生み出そうと切磋琢磨したということだ。透明感のあるみりんゆえに「白みりん」と呼ばれたのだと実感した。



容量約5.4klの仕込桶



理解が深まる見学ツアー



「流山白みりんヒストリー」の展示



キッチンスタジオ「かもシアエール」

ミュージアムには展示エリアだけでなくみりにまつわるシアター、体験型のキッチンスタジオ、通称「かもシアエール」がある。この日も川浦館長が講師となって、みりんを使っの料理教室を開催していた。川浦館長は発酵についてのエキスパートと聞き、ぜひ次は料理体験したいと思った。

まだ来館されていない方は、流山のルーツの一つを知ることができるスポットである。また、ショップでは通常購入できない品物にも出会うことができる。みりんの甘美な世界に浸ることができる。ぜひ、お出かけいただきたい。(野口)

ママの為の  
リフレッシュサロン

毎日とても忙しいママ…こどもは専門のスタッフにまかせて、おたかの森センターでリフレッシュしませんか?をテーマに、当館では月に1度「ママの為のリフレッシュサロン」をNPO法人Riseアップ女性サポート実行委員会との共催のもと開催しております。

やさしいストレッチで骨盤を支える筋肉をゆるめ、本来の位置へ整えます。ゆがみや痛み、こりを根本から改善へ。姿勢改善や不調の予防にも効果的な「骨盤矯正&ストレッチ」。日常の浅い呼吸からヨガの深い呼吸に切り替え、体の細胞を活性化させる「ボディケア」。軽快な曲に合わせ、骨盤周りを中心にほぐしと強化をしていく「ウエストシェイプエクササイズ」などさまざまな内容を実施しています。

お子様連れの方の参加者も多く、短時間ですがお子様をスタッフに預けて、汗を流してリフレッシュしています。講師がゆっくりと一つ一つ体の動かし方などを丁寧に教えていたので、一生懸命運動している姿がとても多く見られます。ゆったりとした雰囲気の中で全身を動かすことで、短時間ですがとてもリフレッシュできた様子でした。ご興味のある方は、ぜひご参加をお待ちしております。(谷澤)



## 館長一筆箋



10月の下旬、やっと秋らしくなってきました。さて、夏の嫌われ者といえば蚊です。今年の猛暑に蚊の活動も鈍っていたようですが、涼しくなり、冬目の今になって活動が活発になっているようです。嬉しくないニュースです。

話は変わりますが、10月末から11月初旬まで読書週間でした。このジャーナルでも児童書案内をこども図書館が担当で掲載しています。活字離れといわれて久しいですが、少年マンガでさえ出版部数が1990年代をピークに3分の1ないし4分の1に減少しています。街の本屋さんめっきり減り、本に接する機会が減ったのではないのでしょうか。

当センターでは、古本フェアを11/1(土)～11/16(日)まで開催しました。スタッフから集めた古本をロビーに展示し、ご希望の方には、無料で進呈というイベント。初日からたくさんの方に進呈することができました。

秋の夜長、蚊の攻撃に負けず、読書で心を豊かにしてみるのも一興です。(野口)

